

「ならなぎ」活動（案内）報告

報告者： 武田 儀照

日時	2024年7月21日（日） 9時30分～12時00分	天候	晴れ	コース名：宝探しコース (山の日・川の日イベント)
案内団体または催事名	奈良県、山の日・川の日企画イベント（1回目） 「奈良公園で宝物を探そう」		人数	子供：16名 大人：15名

(実施状況：リーダー、班編成、対象者の反応、質問など) ホームページでの事前申込を、6月20日から受け付ける。 注意事項、集合時刻、場所、持ち物等を連絡する。 申込者、子供18名、保護者19名、で締め切りましたが、前日及び当日にキャンセルがあり、子供16名、保護者15名の3班体制で実施した。	(敬称略)
＜行程＞	
1. スタッフ15名（福島、澤井、玉尾ひ、青木恵、青木茂、村上、古荘、堀野、服部、玉尾洋、竹山、近野、上森、義田、武田）は9:00なら仏像館前集合。 参加者は9:30集合 2. 受付・参加費徴収の2名で出席確認と協力金@300を集め、班分けの名札を渡す。 3. 9時30分頃から担当者が挨拶、リーダーの紹介。 4. 9:40～なら仏像館前出発、国立博物館横の木陰で3班それぞれ自己紹介、 9:50～春日大社参道、竹のムクロジ辺りでムクロジの話、浅茅ヶ原御旅所前辺りで鹿の話、 10:05～悠久の杜でディアーライン・イラクサの話、トイレ休憩、水分補給 10:20～飛火野でどんぐりの話、クスノキと洞の話、セミの抜け殻探し、林縁でフジの話 10:40～雷の落ちた木の話、スジエビ捕り、水分補給 11:20～小川の南側の林を通り、ルリセンチコガネを探す場所へ移動 11:30～ルリセンチコガネ探し 11:50～ならなぎ代表による挨拶とお土産の説明。お土産は「くるくるヤジロベー」。 12:00終了。ストラップの回収、参加者にアンケートを記入してもらった後、解散。	
＜子供の感想＞	
・かみなりが何回もおちたのにりっぱにそだった木をみてうれしかった。ルリセンチコガネ自分でみつけれなかつたのがかなしかった。いったことのないみちにいけてうれしかった。 ・ルリセンチコガネを見つけるのが楽しかった。 ・ふだんであえない木草虫にであえ、ちしきをした。ルリセンチにであえた。ルリセンチのはねをみつけたよ。楽しかった。 ・スジエビとりが楽しかった。 ぜーんぶたのしかつた。らいねんも来たいです。 ・たのしかつた。 ・ルリセンチコガネ見れてよかったです。とても楽しかったです。1番はルリセンチコガネです。 ・つかれたけどたのしかつた。 ・ルリセンチコガネがたのしかつた。幼虫見つけました。スジエビさがしたのしかつた。小川の水が冷たくてきもちよかったです。シカが近くで見られてよかったです。	
＜保護者の感想＞	
・身近な自然について知ることができて、とてもいい体験ができました。暑い中ありがとうございました。 ・自然、生き物について詳しく聞くことができてよかったです。知らなかつたことばかりで、子供も新しい経験がきました。	

- ・親だけでは案内できないところや知識を教えていただけて良かったです。エビをとったりルリセンチコガネを探したり、いつもはやらないことができて楽しかったようで「夏休みにまた来よう」と言っていて、満足していたようです。
- ・近くてもここまでじっくり散策したり、自然に目を向けることがないので良い体験になりました。
- ・初の夏休み最初のイベントで大変満足です。大人もとても楽しかったです。
- ・糞虫探しに時間がもっと欲しかった。暑い中ではあったが体調に気をつけて行動してくださり安心した。
- ・普段だと通り過ぎる風景でも、よく見るとそれぞれに意味があって今までとは違うものに見えました。
- ・子供の楽しそうな顔がたくさん見られてよかったです。
- ・歩く間も奈良の植物、虫に関する事を丁寧に教えていただきました。子供も途中、集中力が途切れそうになりながらも楽しい話に目を輝かせておりました。ありがとうございます。
- ・知っているようで知らないことが多くて楽しく勉強になりました。ありがとうございました。

〈スタッフの感想〉

- ・2時間半のとても暑い中、保護者の準備もよかったです。子供たちはぐずることもなくリーダーの話を聞きながら楽しんでくれたと思います。
- ・ドタキャン、遅刻者もなく真面目なゲストだったと思います。子供たちも大人しく、進行がスムーズに出来て良かったです。ルリセンチコガネがいない分、スジエビ隊での活躍で沢山捕獲でき、皆楽しんでいただいて、満足されてる模様でした。暑さには閉口しました。
- ・保護者対応の担当でした。具体的に何をすべきか？リーダー・サブの邪魔をしないように！とだけ考えていました。今回、いつも遅れてしまう家族がいました。上の子がお母さんから離れないで、歩くときは常に親子3人連れなのです。早く、早く！と最初は急かせっていましたが、仲良くそれなりに楽しそうだし、彼らの後ろについて歩くことにしました。こういう時には、確かにプラス1名必要だと思いました。
- ・非常に暑いなか、皆さんお疲れ様でした。今回は早朝から筋エビ取りに挑戦し、クタクタでしたが、何とか50匹を確保することが出来ました。子供たちの喜ぶ声が聞けて一度に疲れが吹っ飛びました。2日もそれなりに楽しみながら頑張ります。
- ・ルリセンチコガネが見つからなかったにもかかわらず、子ども達は最後まで集中できていた。古庄さんの巧みなリーダー力が素晴らしかった。早朝からルリセンチコガネ探し、スジエビ探しなど奮闘してくださったスタッフなど、一人一人が力を発揮しようという姿勢に、あらためて、ならなぎの素晴らしさを実感した。
- ・猛暑の日、ドタキャンも一人だけで、参加人数が多く減ることがなくよかったです。私はスジエビの担当だったので、先に小川で待機していました。スジエビは減少傾向にあるようでしたが、少し深い上流では子供でも見つけられるくらいで、ホッとしながら準備して子供達とスタッフを待っていました。水の中に入って子供と夢中でエビを網でくっているお父さんをみるとほほえましく、ほっこりした気分になりました。どの家族も楽しそうでした。前日から、また早朝から調査、ご準備くださった竹山様、近野様、大変ご苦労様でした。ありがとうございました。
- ・予報では今日は猛暑日ということできなり心配していましたが、子どもたちも保護者の方々も元気で参加してくださったのでほっとした一日でした。私の役割は3班の保護者対応ということでしたが、シールを預かり、子どもたちに配ることに終始しました。11歳から5歳までの年齢差がありましたが、どの子も話を聞く態度がよく、活動を楽しんでいました。ルリセンチコガネはもちろん、スジエビをとれなかった子もいましたが、たくさんとれたチームが取れなかった子に譲ってあげたり、目的以外の水生昆虫をゲットしたりと楽しそうでした。リーダーの古庄さんは臨機応変に子どもの意見や子どもが見つけた宝物を取り上げ説明しておられ、子ども扱いにも非常に慣れておられたので、子どもたちも楽しかったのだと思いました。ルリセンチコガネがいない近頃の環境を子どもたちが知るということも有意義な活動であったと思いました。
- ・経験豊富な皆様の配慮で、滞りなく実施できたように思います。暑い日でしたが、参加された方々及び「ならなぎ」スタッフも無事で安堵しました。
- ・暑かったけれど、周到に準備された山の日川の日のイベントは子どもも親も楽しんでいた。準備物も年々バージョンアップされて、より分かりやすい内容だった。子どもたちの感動をきちんととらえてのリーダーの説明は臨機応変、さすがでした。ルリセンチコガネがいないことも奈良公園の実態を理解してもらえる機会だとは思ったが、やはり見本を見せることができたのはよかったです。

- ・本日は炎天の下で、子供達と一緒に歩き廻りましたが、どの子も気分を害すること無く良くリーダーの説明を聞いていましたが、何といつても圧巻は‘スジエビ採り’でした。親御さんも子供達と一緒に小川に入り、一生懸命エビ取りに精を出しているのを見て「きっと家族間のコミュニケーションに役立つに違いない」「また子供達の夏休み宿題の発表材料になるのでは」と思いました。特に今年はルリセンチコガネの収穫が不調の様なので、その分’スジエビ採り’の時間を多めに設定するのが良いと思いました。(また予め、スジエビの捕獲に注力して頂いた近野さん、上森さん有難うございました。)
- ・心配していた暑さですが主催者も参加者も無事終了よかったです。同じ位の年齢構成の家族で楽しく終えることができました。開始直ぐの所で「フジ」「鹿」「ムクロジ」の所で「セミの抜け殻」を見つけてくれたので後半余裕で過ごせました。カミナリのクスノキでは各自写真撮影もできました。説明の準備物とサブリーダーのおかげで案内もしやすかったです。(青木さん。いつもきちんと整理してくださいありがとうございます。)
- ・今日は大変暑い中ご苦労様でした。体調を崩す子もなく、みんな元気に活動していました。異常気象で今後益々暑くなっていくように思います。活動内容を大幅に見直す時期に来ているのではないかと思いました。
- ・参加した子どもたちが体調を崩すこともなく活動できたことが一番よかったです。スジエビとりで、喜んでいる親子の姿が印象的でした。サブリーダーさんをはじめ様々なフォローをして下さりずいぶん助かりました。有り難うございました。
- ・厳しい暑さの中、参加された皆様やスタッフの皆様が体調を崩されることなく、楽しく元気に活動を終えられて本当に良かったです。「ルリセンチコガネ」だけでなく、子どもたちはいろんな動物・植物の姿の中から自分なりの宝物も見つけ楽しんでいました。保護者の方たちも熱心に説明に耳を傾けておられました。厳しい暑さは心配ですが、来年も「奈良公園で宝物を探そう」のタイトルで出来そうですね。リーダーさんの分かり易くて、子どもの言葉や動きに合わせながらの素敵な案内に引き込まれ、私も楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。張り切りすぎてリーダーさんのペースを乱してしまった時があり反省しています。今回学習した事を2回目に生かしたいと思います。
- ・「宝物探し」実施のために、綿密な事前の計画、コース内で必要な数々の提示物の準備、提示用として事前のルリセンチコガネの採取、早朝よりスジエビ採りの準備等を含め、スタッフの方々が自分の役割に積極的に取り組んだことで、子どもたちにも保護者の方々にも楽しく満足してもらえる行事となっていましたのだと改めて実感しました。また、猛暑により早くからバテ気味の子供がいたのが気になりましたが、熱中症も怪我もなく全員揃ってゴールできホッとしています。昨年より変更された日陰の多いコースなのも幸いしているように思われました。

(所感・雑感・反省点、申し送り事項など)

- ・行程についてはほぼ計画通りに進行でしたが、飛火野に入ってドングリやセミなどの話題も多くスジエビとりの時間が減ったため20分ほど延長した。水も気持ちよく親子で楽しむ時間なので必要と思う。その分ルリセンチコガネを探す時間が10分ほど減った。感想にあったように、もうちょっと探す時間が欲しかったようだ。いないとは思ってもレアなので見つけたいという欲求が膨らむようだ。
- ・自然環境の変化とはいえ、ルリセンチコガネを見つけにくくなっている。朝早くの探索でもなかなか見つからない状況。課題は根深い。

<https://naranagi.jp/annai/2024nen/shiroebi.jpg> シロエビ取り

会計報告

【収入】運営協力金：300円×16人= 4,800円

【支出】活動費：スタッフ15名 (上記) ×1,000円= 15,000円

保険代：28円 × 60人 = 1,680円 (鳴田)

材料費：ビニールテープ、ウエットティッシュ等 1805円 (青木)

駐車場代：2500円 (青木)

配布先：代表、副代表、事務局長、リーダー全員、担当班長、会計